

平成24年度
予算説明書



花と歌舞伎と名水のまち

小鹿野町

目 次

はじめに	1
平成24年度 予算規模について	2
I 自然と歴史に囲まれた住みよい生活環境づくり	3
II 健康と福祉のまちづくり	7
III ふるさとの明日を担う心豊かな人づくり	10
IV 地域に根ざした活気あふれる産業づくり	13
資料編	
1 財政指標	16
2 一般会計当初予算の推移	16
3 平成24年度一般会計予算の状況	17
4 町税の推移	18
5 普通交付税の推移	18
6 基金（貯金）の推移	19
7 地方債（借金）残高の推移	19
8 職員数・職員給の推移（一般会計）	20

はじめに

昨年3月11日に発生した東日本大震災では、東北地方を中心に津波による甚大な被害を受け、必死の復興作業が今も継続的に行われています。また、タイを襲った豪雨による浸水被害により、日本企業の工場が壊滅的な打撃を受けるなど、わが国経済は、未だに不況から抜け出せずに苦しんでいる状況です。

しかしながら、エコカー補助金の復活や復興需要の高まりなどから、国内需要は徐々にではありますが、回復の兆しが見えてきたところでもあります。

このような大変厳しい時期ではありますが、「町民の生命を守り、安全・安心なまちづくり」を主眼に置き、町民の福祉と生活環境向上のための施策に全力で取り組んでいくこととし、平成24年度の小鹿野町一般会計予算は、63億2千233万円となったところであります。

私はこれからも、先行きの見えない不透明な状況下ではありますが、国の動向を注視しながら、町の全ての会計の健全運営を見据えた財政運営に取り組み、町民の皆様が安心して暮らせるまちづくりに全力で取り組んでいく所存であります。

本予算説明書では、平成24年3月定例議会で申し上げた「施政方針」に基づく主な事業について説明してあります。今後とも、皆様方のなお一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます、発行にあたっての挨拶といたします。

平成24年5月

小鹿野町長 福 島 弘 文



町の花：セツブンソウ



町の木：モミジ



町の鳥：ウグイス

平成24年度 予算規模について

●予算規模

会計名	予算額	対前年度比
一般会計	63億2,233万円	△1.4%
国民健康保険特別会計	16億8,351万3,000円	△1.2%
後期高齢者医療特別会計	2億5,242万5,000円	2.1%
介護保険特別会計	15億723万円	1.1%
浄化槽設置管理等特別会計	1億3,670万円	0.3%
病院事業会計	15億138万7,000円	△3.2%
水道事業会計	3億6,482万4,000円	△5.8%
国民宿舎事業会計	2億2,459万6,000円	△12.6%
合計	119億9,300万5,000円	△1.6%

(※注 対前年度比欄の△は減少)

●学校教育施設環境改善交付金事業（一般会計）

国の交付金を受けて次の事業が町の平成23年度補正予算に計上・繰越され、平成24年度予算（63億2,233万円）と一体として実施されます。

事業名	予算額	内容
学校施設整備事業 小学校施設整備事業	9,732万円	長若・三田川・両神小学校へ太陽光発電設備を設置するほか、長若小学校体育館耐震補強工事を実施します。
学校施設整備事業 中学校施設整備事業	5,960万円	三田川中学校校舎の耐震補強工事を行います。
園舎等維持管理事業 幼稚園施設整備事業	2,250万円	小鹿野幼稚園園舎の耐震補強工事を行います。
合計	1億7,942万円	

I 自然と歴史に囲まれた住みよい生活環境づくり

日本百名山…両神山



小鹿野町は、恵まれた自然環境の中にあり、自然との共生を図りながら、快適で安全な居住空間づくりを行ってきました。

これからも安心して住み続けられる住環境の整備に向けた施策の展開を図っていきます。

■自然公園等維持管理事業（担当：産業観光課）

当町の恵まれた自然環境・伝統文化を守り、町民の皆さんが安心して暮らせる環境整備は、在住者のみならず、来町者を増加させ、町を活性化させるものと考え、適切な維持管理を行います。

総事業費：1,913万円

入園料等	239万円
県補助金	525万円
町の負担金	1,149万円

■住宅用太陽光発電設備・

高効率温水器設置費補助事業（担当：住民課）

昨年の東日本大震災以来、自然エネルギーへの転換が急務となっています。そこで、昨年度に続き、太陽光発電設備の設置費を補助するとともに、温水器設置費補助については、補助件数を増加して町民の皆さんのご要望にお応えしていきます。

総事業費：357万円

町の負担金	357万円
-------	-------



太陽光発電設備（小鹿野小学校）

■公衆トイレ水洗化事業（担当：住民課）

町の豊かな自然環境の保全や、町を訪れる方々が気持ちよく過ごせるため、本年度も2箇所の公衆トイレの水洗化工事を実施します。（伊豆沢・河原沢地内を予定しています。）

来年度以降も、計画的に公衆トイレの水洗化を進めていきます。

総事業費：1,400万円

町の負担金	1,400万円
-------	---------



観光トイレ（三田川小学校）

■浄化槽転換事業（担当：衛生課）

本年度は、50基分の単独浄化槽を合併浄化槽へ転換する事業の補助を予定しています。

総事業費：1,500万円	
県補助金	1,400万円
町の負担金	100万円

■町営バス運行事業（担当：両神庁舎管理課）

■過疎バス対策事業（担当：総合政策課）

77歳以上の方のバス無料券は、多くの方にご利用いただいています。今年度は、バス路線の再編を視野に入れ、両神地区に、バスターミナルを新設するとともに、引き続き、西武観光バスへの赤字補填を行い、町民の皆様の利便性確保に努めます。

総事業費：1億413万円	
県補助金	1,319万円
使用料	859万円
町の負担金	8,235万円
（内借入金）	1,600万円

■町単独道路整備事業（担当：建設課）

■道整備交付金事業（担当：建設課）

■社会資本整備総合交付金事業（担当：建設課）

昨年度までは、国の緊急経済対策交付金等を利用して住民生活に欠かせない町道の整備を行ってきましたが、今年度は、道整備交付金や社会資本整備総合交付金並びに合併特例債を活用し、町道189号線や町道89号線、その他町道の改良・舗装事業を行います。

総事業費：1億740万円	
国補助金	1,550万円
町の負担金	9,190万円
（内借入金）	7,600万円

■橋梁維持管理事業（担当：建設課）

■橋梁長寿命化計画策定事業（担当：建設課）

昨年度実施した橋梁点検に基づく改修計画を策定し、今後、計画的に橋梁の補修を行っていきます。

本年度は、飯田地区にある柏木橋の補修工事を行います。

総事業費：3,470万円	
国補助金	1,920万円
町の負担金	1,550万円
（内借入金）	1,000万円

■河川整備事業（担当：建設課）

本年度は、伊豆沢・長留・両神薄地内の河川改修工事を行います。

総事業費：1,832万円	
町の負担金	1,832万円
（内借入金）	1,530万円

■国県道建設促進事業（担当：総合政策課・建設課）

国県道等の基幹道路整備については、国・県等に対して毎年早期整備の要望活動を展開しています。

本年度は、一本杉峠開削について、秩父市と共同で調査を行うための予算を計上いたしました。

総事業費：109万円

町の負担金	109万円
-------	-------

■交通安全施設設置事業（担当：建設課）

町道の区画線・道路照明灯・道路反射鏡などの維持補修、新設などを行い、交通の安全対策に取り組んでいきます。

総事業費：300万円

町の負担金	300万円
-------	-------

■防災関係事業（担当：住民課）

東日本大震災を受けて、全国全ての地方公共団体が見直しを求められている「地域防災計画」の再策定等を行います。

総事業費：644万円

町の負担金	644万円
-------	-------

■非常備消防事業（担当：住民課）

安全・安心なまちづくりに欠かせない小鹿野町消防団（5支団・27分団）の活動に係る経費です。本年度は、第二支団が出場する消防操法大会出場経費や、機械器具購入経費などを計上しました。

総事業費：7,153万円

町の負担金	7,153万円
-------	---------

■消防設備整備事業（担当：住民課）

消火活動に欠かせない、防火水槽やホースポールの建設費、並びに老朽化した指令車の購入経費などです。

総事業費：2,682万円

町の負担金	2,682万円
（内借入金）	480万円

■水道事業会計（担当：水道課）

水道事業については、安全で安心なおいしい水の安定供給に努めております。

引き続き健全経営を念頭に、施設の改修・整備等を行ってまいります。



総事業費：3億6,483万円

事業収入	24,237万円
国県補助金	536万円
町の負担金	11,710万円

■浄化槽設置管理等特別会計（担当：衛生課）

自然環境に配慮した合併浄化槽設置事業を積極的に展開していくとともに、適切な維持管理に努めていきます。



総事業費：1億3,670万円

使用料等	3,383万円
国補助金	1,448万円
町の負担金	8,839万円
（内借入金）	5,000万円

II 健康と福祉のまちづくり



般若の丘・いきいき館

当町は、町立病院を核として、以前から保健・医療・福祉の連携・充実に取り組み、着々と実績を積み上げ、その取り組みは県内外で大いに注目されています。

本年度は、生活習慣病を早期に予防するため、小学5年生及び中学2年生を対象に検診を実施し、さらなる健康増進に取り組んでいきます。

■各種予防接種事業（担当：保健福祉課）

前年度から実施している幼児H i bワクチン及び小児肺炎球菌ワクチン、中学生女子の子宮頸がんワクチン接種費の全額補助を行います。また、高齢者の肺炎球菌ワクチン接種費の一部助成についても引き続き実施していきます。

総事業費：4,452万円

県補助金	693万円
町の負担金	3,759万円

■各種検診事業（担当：保健福祉課）

近年の生活習慣病は、低年齢化が進んでいます。そこで、早期予防を目的に、本年度から小学5年生及び中学2年生の検診を実施することで、家族の健康づくりに取り組んでいきます。

総事業費：2,168万円

個人負担金	160万円
国補助金	198万円
町の負担金	1,810万円

■特別保育事業補助事業（担当：住民課）

待機児童の解消を図るため、前年度は両神保育所の増改築工事を実施しました。

本年度は、民間保育所の増改築工事に要する経費の一部を国の補助制度を利用する中で助成していきます。

総事業費：4,138万円

国補助金	2,000万円
県補助金	608万円
町の負担金	1,530万円



両神保育所

■ちちぶ定住自立圏推進事業

(医療連携) (担当：保健福祉課)

数年来全国で続いている医療職員不足はなかなか打開の目処が立たない状況です。そうした中、前年度発足した「秩父地域医療協議会」において、秩父全域の医療体制確保に向けて協議が開始されました。

本年度も引き続き、医療職員確保に向け、努力していきます。

総事業費：1,000万円

町の負担金	1,000万円
-------	---------

■医学生修学資金貸付事業 (担当：保健福祉課)

将来の町立病院の医師確保を目的に、医学生等に修学資金の貸付を行っています。

現在1名の方が研修を終了しています。

総事業費：2,520万円

町の負担金	2,520万円
-------	---------

■こども医療費支給事業 (担当：住民課)

■ひとり親家庭等医療費支給事業 (担当：住民課)

■重度心身障害者医療費支給事業 (担当：保健福祉課)

以前からご要望のあった、福祉3医療費(こども医療・ひとり親家庭等医療・重度心身障害者医療)の窓口払いの廃止については、秩父全域で取り組むことになり、平成25年4月の実施に向け、本年度から協議を行っていきます。

総事業費：8,175万円

県補助金	2,795万円
町の負担金	5,380万円

■健康指導事業 (担当：保健福祉課)

■認知症対策事業 (担当：保健福祉課)

保健・医療・福祉の充実に力を入れている当町においても、健康に不安を抱えている方は少なくないと思います。自宅で認知症患者を介護している家族の方々の不安を少しでも解消できるように、インターネットによる相談窓口を新規に開設するとともに、電話による24時間相談体制も引き続き行っていきます。

また、介護予防や健康増進に多くの方にご利用いただいている「般若の丘・いきいき館」の運動室を快適な利用空間にするため、エアコンを設置する費用も計上しました。

総事業費：950万円

県補助金	57万円
町の負担金	893万円

■シルバー人材センター補助事業（担当：保健福祉課）

■老人クラブ関係事業（担当：保健福祉課）

各地区で結成されている老人クラブは、平成23年度20団体・1,577人の方が参加し、様々な活動を行っています。

また、シルバー人材センター（旧高齢者事業団）は、180人を超える方が登録し、生きがい作りのために、元気に働いています。

これらは、健康づくりにも繋がる大切な活動と考えていますので、引き続き、助成を行っていきます。

総事業費：710万円

県補助金	28万円
町の負担金	682万円



小鹿野町ゲートボール大会

■病院事業会計（担当：町立病院）

町立病院は、医療職員の不足等大変厳しい経営状態となっていますが、町民の健康づくりの拠点となる施設であることから、医師住宅の改修などを行い、医療職員の確保・充実に努めていきます。

総事業費：15億139万円

医療収入	112,200万円
医療外収入	17,300万円
町の負担金	20,639万円
（内借入金）	1,940万円

■介護保険特別会計（担当：保健福祉課）

●保険事業勘定

総事業費：12億4,384万円

保険料	20,132万円
基金交付金	34,864万円
国県補助金	48,475万円
町の負担金	20,899万円
その他	14万円

●サービス事業勘定

総事業費：2億6,340万円

事業収入	24,237万円
国補助金	62万円
町の負担金	2,032万円
その他	9万円

■国民健康保険特別会計（担当：保健福祉課）

引き続き国保会計は厳しい運営状況が続いていますが、加入者の負担を少しでも緩和することを目的に、前年度は一般会計から過去最高額の繰出を行いました。本年度も同額を計上しました。

総事業費：16億8,352万円

国保税	25,967万円
国県補助金	48,501万円
交付金等	73,270万円
町の負担金	20,404万円
その他	210万円

■後期高齢者医療特別会計（担当：保健福祉課）

総事業費：2億5,243万円

保険料	7,306万円
交付金等	16万円
町の負担金	17,914万円
その他	7万円

Ⅲ ふるさとの明日を担う心豊かな人づくり

郷土芸能祭



少子・高齢化の進行や目まぐるしく変化する社会情勢に的確に対応するとともに、郷土愛を育みながら子どもたちの可能性を引き出し、心豊かな人材を育成するために、教育環境の整備が不可欠となっています。

■義務教育支援事業（担当：学校教育課）

本年度も引き続き、第二子以降の児童・生徒の給食費と教材費を助成し、義務教育課程における教育支援を行っていきます。

総事業費：3,082万円

町の負担金	3,082万円
-------	---------

■小学校施設整備事業（担当：学校教育課）

耐震補強工事にあわせて、雨漏りしている屋根の修理等を行う三田川小学校校舎の大規模改修工事の設計費を計上しました。なお、工事は、平成25年度を予定しています。

総事業費：760万円

町の負担金	760万円
-------	-------

■中学校施設整備事業（担当：学校教育課）

小鹿野中学校校舎を大規模改修するための設計費を計上しました。なお、工事は、平成25年度を予定しています。

総事業費：2,310万円

町の負担金	2,310万円
-------	---------

■学校給食関係事業（担当：学校教育課）

学校給食の安全性を確保するため、全ての調理場に真空冷却機を設置するとともに、食品と土壌の放射性物質検査手数料を計上し、安全・安心な教育環境づくりに配慮しました。

総事業費：6,652万円

町の負担金	6,652万円
(内借入金)	1,510万円

■学校図書館事業（担当：学校教育課）

町内各小中学校の図書購入費を増額するとともに、緊急雇用創出基金事業を活用して、図書整理支援員を2名配置いたします。

総事業費：597万円

県補助金	244万円
町の負担金	353万円

■スポーツ振興事業（担当：社会教育課）

スポーツの振興は、町民の健康づくりはもとより、コミュニティ活動の推進にも欠かせない存在となっています。

本年度もスポーツ団体への助成や地区運動会開催の助成、並びに好評を得ているイースタンリーグ（プロ野球公式戦）招致実行委員会への助成も引き続き行います。

総事業費：582万円

町の負担金	582万円
-------	-------



イースタンリーグ

■ロードレース大会開催事業（担当：社会教育課）

最近のマラソンブームは勢いがとまりません。小鹿野ロードレースもその影響を受け、毎年1,000人を超える参加者が出るほどの人気大会となっています。

スポーツ大会ではありますが、町外からの参加者が大勢いますので、町をPRする絶好の機会と捉え、盛り上げていきます。

総事業費：248万円

町の負担金	248万円
-------	-------



ロードレース大会

■弓道場維持管理事業（担当：社会教育課）

青少年から大人まで幅広い年齢層に人気のある競技です。

本年度は、弓道場の防護幕を設置する工事を行い、安心して利用できる環境づくりに取り組みます。

総事業費：214万円

町の負担金	214万円
-------	-------

■総合センター維持管理事業（担当：社会教育課）

現在、埋蔵文化財を修復・保管しておりますが、建築後40年を経過しているため、今後の活用を考慮し、耐震診断を行います。

総事業費：437万円

町の負担金	437万円
-------	-------

■歌舞伎のまちづくり事業（担当：社会教育課）

小鹿野歌舞伎は、町を代表する伝統芸能となっています。加えて、町外での出張公演を数多く行い、町をPRする芸能として、欠かせない存在です。

本年度は後継者育成に関する経費や、かつらの新調経費、歌舞伎・郷土芸能祭開催費補助金などを計上しました。

総事業費：616万円

町の負担金	616万円
-------	-------



小鹿野歌舞伎（鉄砲まつり）

■指定文化財管理事業（担当：社会教育課）

町の貴重な財産である重要文化財を後世まで守り伝えていくことは、とても大切なことと考えています。

本年度は、宗吾神社の舞殿屋根、木魂神社（お天狗様）の神楽殿を修理するための助成金を計上しました。

総事業費：584万円

町史販売代金	10万円
町の負担金	574万円



宗吾神社の舞殿



小鹿野歌舞伎（お天狗様）

IV 地域に根ざした活気あふれる産業づくり

両神ふるさとまつり



地域の地場産業を育成していくことは、地域に活力を生み出し、活力が生まれることにより、更に産業も進展していきます。

また、地域に暮らす人たちが元気になることも活力を生み出す源となっていますので、皆さんが元気になるイベントを積極的に展開していきます。

■農業振興事業（担当：産業観光課）

雇用と所得を確保し、若者や子どもが地域に定住できる社会を構築するため、農林漁業生産と加工・販売の一体化や、地域資源を活用した新たな産業の創出を促進するなど、6次産業化を推進していきます。

総事業費：127万円

町の負担金	127万円
-------	-------



■基幹水利施設ストックマネジメント事業

（担当：産業観光課）

小鹿野用水を補修するために、平成24・25年度の2年間で、調査を行い、補修計画を策定するための事業を行います。

総事業費：400万円

町の負担金	400万円
-------	-------

■緊急雇用創出基金事業（担当：産業観光課）

長引く不況により、引き続き厳しい雇用環境となっていることに考慮し、本年度も埼玉県の利用し、以下の事業において雇用の創出を図ります。

- 鳥獣害対策事業
- 町内ハイキングコース等環境整備事業
- ダム周辺環境整備事業
- 路面凍結箇所解消事業
- 学校環境整備事業
- 学校ICT支援事業
- 学校図書整理事業
- 住民総合窓口支援業務

総事業費：2,809万円

県補助金	2,809万円
------	---------



両神山麓花の郷・ダリア園

■**森林管理道改良事業**（担当：産業観光課）

本年度は、譲沢線（両神小森）、藤指線（両神薄）の改良工事を実施します。

総事業費：1,100万円	
県補助金	255万円
町の負担金	845万円
（内借入金）	610万円

■**森林管理道舗装事業**（担当：産業観光課）

本年度は、次の路線の舗装工事を実施します。

- 浦島線（両神薄） ○日蔭入線（両神薄）
- 北ノ入線（般若） ○長久保線（日尾）

総事業費：3,720万円	
県補助金	1,062万円
町の負担金	2,658万円
（内借入金）	2,020万円

■**住宅リフォーム資金助成事業**（担当：産業観光課）

町の経済活性化や定住促進を推進するため、本年度も住宅リフォームに要する経費の一部を助成します。

総事業費：1,000万円	
町の負担金	1,000万円

■**四季の道維持管理事業**（担当：産業観光課）

手軽なハイキング・散歩コースとして大勢の方が利用している遊歩道です。

本年度は、老朽化した展望台（やすらぎの丘上）の修復工事を実施します。

総事業費：481万円	
町の負担金	481万円

■**観光施設整備事業**（担当：産業観光課）

両神勤労者福祉センターの隣の広場を、新たにグラウンドゴルフができる芝生広場として、天然芝で整備します。

また、芝を管理するため、専用の乗用芝刈り機も購入します。

総事業費：1,289万円	
町の負担金	1,289万円
（内借入金）	1,000万円



芝生広場

■観光振興事業（担当：産業観光課）

毎年盛大に開催されている「両神ふるさとまつり」の運営団体である両神ふるさとまつり実行委員会を始め、各種観光推進団体の活動に対する助成金を計上しました。

特に、小鹿野両神観光協会に対しては、各種事業の委託金として、総額として前年度より多くの助成金を交付します。

総事業費：1,660万円

使用料等	10万円
町の負担金	1,650万円

■まちづくり活動推進事業（担当：産業観光課）

今年で4回目を迎える「路地ST」は、徐々に中心市街地活性化事業として根付いてきました。

今年は、全国路地サミットと同時開催が予定されていますので、今まで以上に賑やかな催し物になるものと思います。

総事業費：633万円

国補助金	220万円
町の負担金	413万円



路地ST



尾ノ内溪谷

■国民宿舎事業会計（担当：産業観光課）

町民の憩いの施設であると同時に、観光の拠点施設ともなっています。

昨年度で借入金の返済が終了したため、これからは、施設の改修計画を検討し、さらなる施設の充実を図ります。

総事業費：2億2,460万円

事業収入	22,460万円
------	----------

1 財政指標

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	判断基準
財政力指数(3カ年平均)	0.43	0.42	0.39	高いほうが良い
経常収支比率	81.3	81.2	80.0	低いほうが良い
公債費負担比率	15.7	15.9	14.4	低いほうが良い
実質公債費比率	15.6	15.0	14.1	低いほうが良い
将来負担比率	107.6	87.8	63.0	低いほうが良い

【用語解説】

財政力指数⇒標準的にかかる経費に対する自主的な収入割合で、指数が高いほど財源に余裕があることとなります。

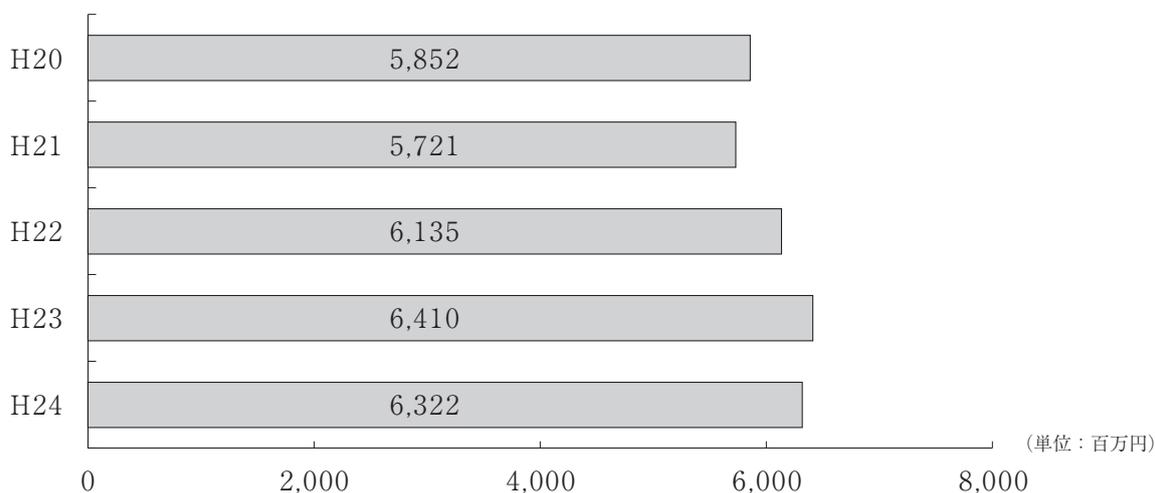
経常収支比率⇒財政構造の弾力性を判断する比率で、指数が低いほど弾力性が大きいこととなります。

公債費負担比率⇒公債費(借金返済)に充てられた一般財源の一般財源総額に占める割合です。

実質公債費比率⇒標準的な財政規模に占める元利償還金等(公営企業会計への繰出金のうち公債費に当たるものも含まれます。)の割合で、18%を超えると地方債の発行に許可が必要となります。

将来負担比率⇒一般会計の借金(町債)や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すものです。

2 一般会計当初予算の推移



●ワンポイント●

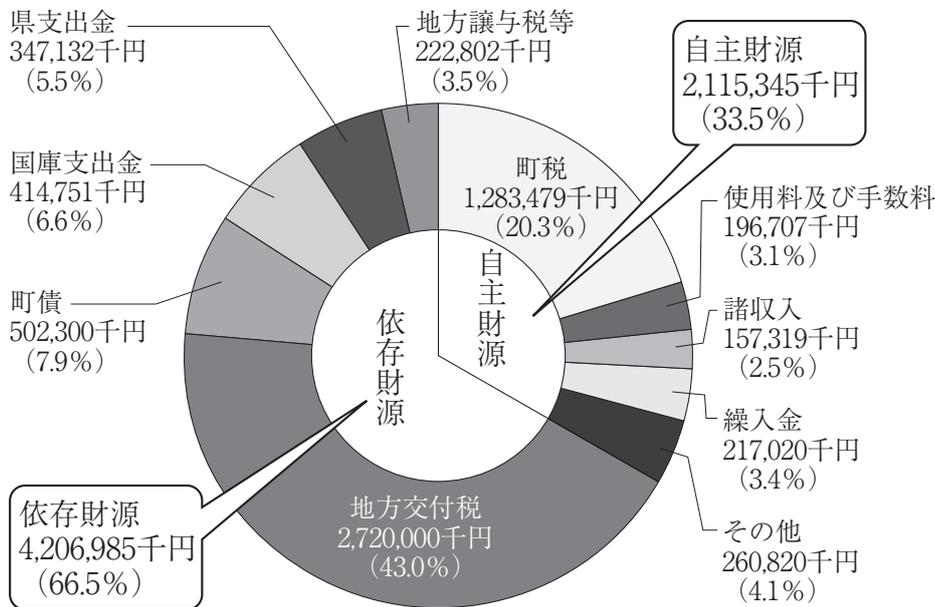
予算額は、その年に建設事業(施設等の建設・整備)等をどれだけ行うかにより大きく増減します。

大規模な道路施設等の建設事業がある年には増え、終了した時に減りますので、一概にその評価はできませんが、一つの目安としては基金(貯金)から繰入れ(取り崩し)が0での予算額になれば当該年度の収入で賄われている予算となります。

3 平成24年度一般会計予算の状況

予算総額 63億2,233万円

歳 入



【用語解説】

地方交付税⇒行政サービスの一定水準の確保と自治体間の不均衡を調整するため国から交付されるものです。地方交付税は普通交付税と災害など特別な事情により配分される特別交付税があります。

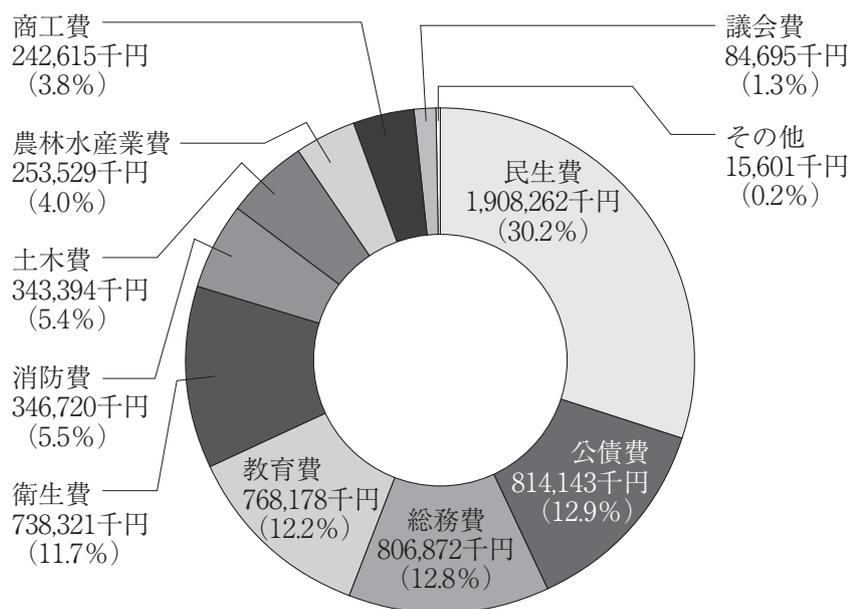
町債⇒町の借金で、将来にわたって返済が必要です。

繰入金⇒貯金（基金）からの収入（取り崩し）です。

●ワンポイント●

国や県の動向に左右されない財政運営（やりくり）を行うには自主財源が多いほうが好ましいとされています。

歳 出



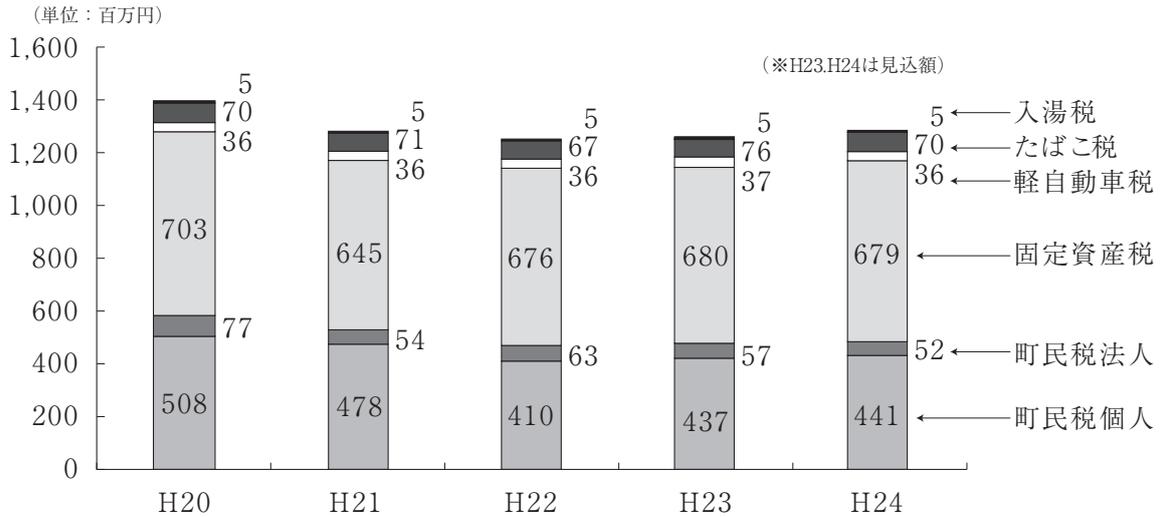
【用語解説】

公債費⇒町の借金を返すためのお金です。

●ワンポイント●

道路や各種施設の建設時に、その資金として借り入れたお金の返済金が公債費ですが、町民の皆さんにとっての費用対効果の視点に立って借り入れを行い、その削減に努力していくことが健全な町の財政を維持していくためにも必要となってきています。

4 町税の推移



【用語解説】

町民税（個人）⇒個人の所得に対して課税される町の税金です。

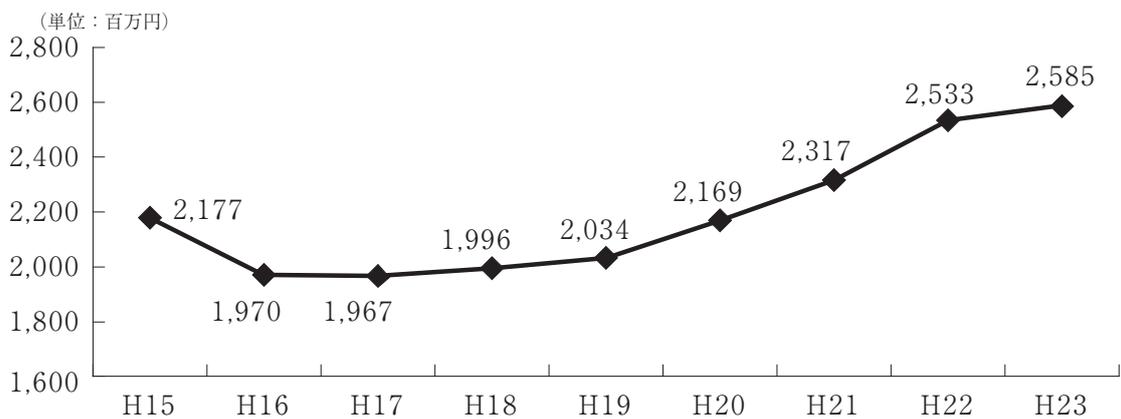
町民税（法人）⇒会社等の所得に対して課税される町の税金です。

●ワンポイント●

町税収入は近年の景気低迷により、横ばいないし減少傾向にあります。

平成24年度の町税収入については、制度改正等により増収見込みとなっています。

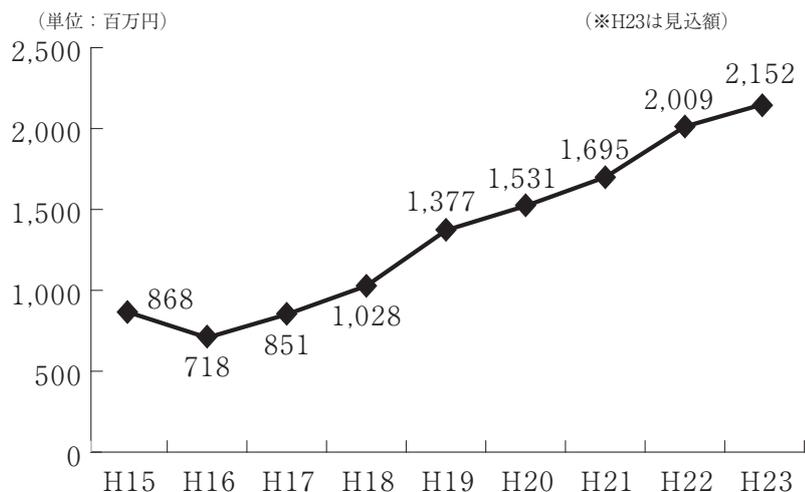
5 普通交付税の推移



●ワンポイント●

普通交付税は財源の中心となる収入ですが、交付額は国の財政状況等に左右されます。今後も収入に見合った支出が必要となりますので支出については、よりその内容を精査し、町民の皆さんに理解していただける内容にしていくよう努めていきます。

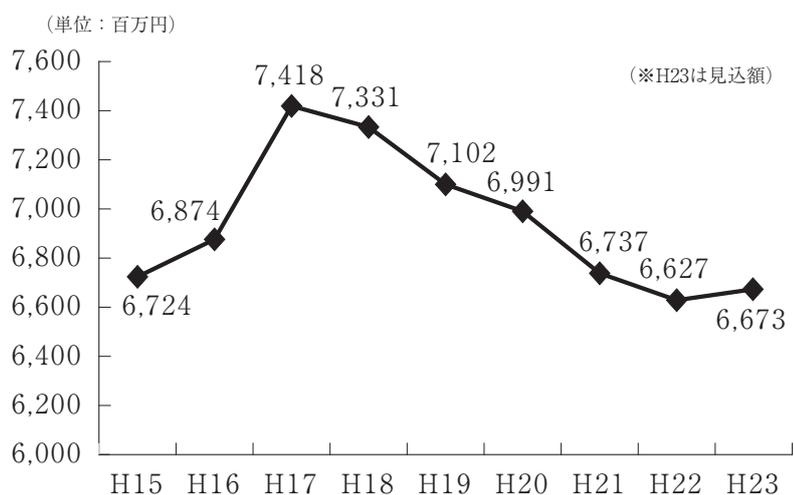
6 基金（貯金）の推移



●ワンポイント●

基金は家計でいえば貯金にあたるものです。いざというときに備え、貯えておくことが必要なものです。今後の経済状況によっては大胆な支出も見据えていかなければなりません。

7 地方債（借金）残高の推移



●ワンポイント●

地方債については、残高の減少に努めてまいりましたが、学校施設の大規模改修等により増加が見込まれています。

また、地方債には、借金返済額に対し、決まった率で返済額の一部が地方交付税として交付されるものがあります。

今後とも交付税で措置される有利な地方債（※）の活用を検討していきます。

【※有利な地方債とは？】

地方債とは、地方公共団体が公共工事等を行う場合の借入金（借金）です。

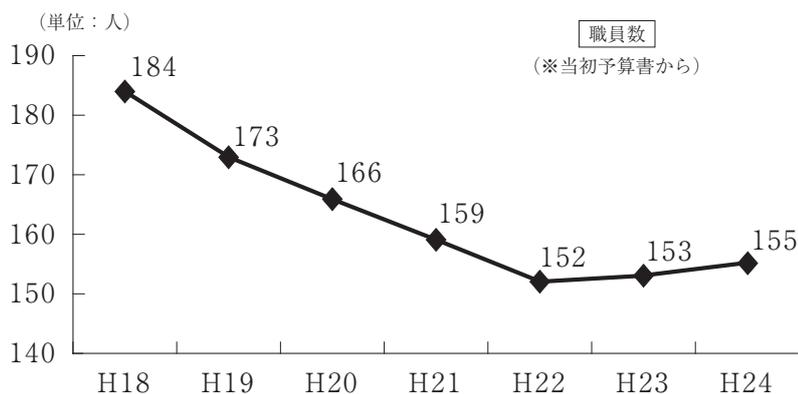
通常地方債は、借り入れた額に利子を付けて返済します。有利な地方債とは、元金と利子の返済額の一定割合が交付税に算入されるというものです。

平成22年度決算に基づく有利な地方債残額

- 過疎債： 551,352千円 [交付税算入率： 70%]
- 辺地債： 93,064千円 [交付税算入率： 80%]
- 合併特例債： 523,442千円 [交付税算入率： 70%]
- 臨時財政対策債： 2,742,466千円 [交付税算入率： 100%]

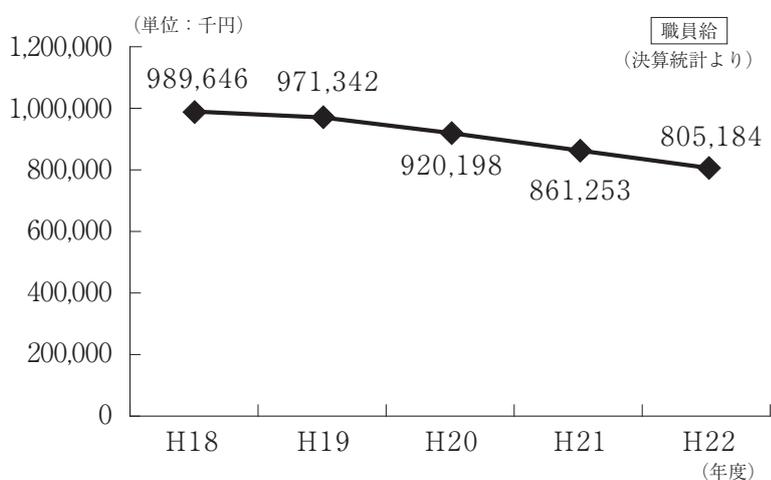
※臨時財政対策債は、交付税の代替として発行する地方債で、返済額の満額が交付税で措置されます。

8 職員数・職員給の推移（一般会計）



●ワンポイント●

事務事業の整理合理化・組織の見直し、指定管理者による経費削減等の推進による組織活力の向上にも配慮しながら、職員の適正な管理を進めています。



小鹿野町役場電話番号一覧 代表 0494-75-1221 FAX 0494-75-2819

■小鹿野庁舎1階

総務課	75-1225
総合政策課	75-4197
税務課	75-4125
住民課	75-4170
会計課	75-4136

■小鹿野庁舎2階

議会事務局	75-4199
-------	---------

■両神庁舎1階

両神庁舎管理課	79-1122
産業観光課	79-1100
建設課	79-1204
学校教育課	79-1201

●防災放送内容確認電話 79-1761

■保健福祉センター

保健福祉課	75-4421
-------	---------

■町立病院

町立病院	75-2332
------	---------

■衛生センター

衛生課	75-0352
-----	---------

■小鹿野文化センター

社会教育課	75-0063
中央公民館	

■上水道浄水場

水道課	75-0043
-----	---------

■両神ふるさと総合会館

両神公民館	79-1311
町立図書館	79-0150

